

喫煙と肺の病気について

～COPD(慢性閉塞性肺疾患)～



担当：三〇〇

ちちぶ空家バンク

ちちぶ

保健師からの

COPDは、主にたばこの煙を長年吸い続けることで起こる肺の病気です。人間の肺には小さなぶどうの房のような形をした肺胞（はいぼう）という部分があり、そこで酸素を取り入れ二酸化炭素を排出しています。この肺胞がたばこの煙によってボロボロになってしまうと、空気の出し入れがしにくくなります。また、気管支の慢性的な炎症で壁が腫れて厚くなり、たんが増え、空気の通り道が狭くなります。

日本では、40歳以上の8.5%に当たる530万人以上の潜在患者がいると言われていますが、治療を受けている患者さんはそのうちの5%未満とも言われています。

COPDは非常にゆっくりと進行するので、なかなか病気を自覚しにくく、重症化して初めて見つかることが多いのが現状です。

COPDの症状

慢性的な呼吸困難感、からだを動かしたときに生じる息切れ、慢性のせき・たん

COPDが進行すると、慢性的な呼吸困難だけでなく、体を動かすと苦しくなるため、外出や日常生活にも制限が出てきます。壊れた肺はもとには戻りませんが、薬物療法や酸素療法を受けることで、入院せずに生活することもできます。

喫煙者の治療のスタートは禁煙です。禁煙に遅すぎることはありません。たばこを吸った経験のある人で、少しでも気になる症状のある場合は早めに検査を受けてください。COPDは早期に適切な治療を受け、重症化させないことが大切です。

在宅酸素療法を受けている方に補助金の制度があります。

○対象者

- (1) 町内に住所を有する者
- (2) 在宅で酸素濃縮装置等を使用している者

○補助金額

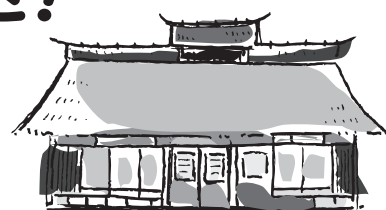
1人につき月額1,500円

○申請

酸素濃縮装置等利用補助金交付申請書を提出してください。
(申請受付後に保健師による使用状況の調査があります。)

「ちちぶ空家バンク」に登録を!

ちちぶ空家バンクとは、田舎暮らしを希望する方に、ホームページなどを通して情報を提供するシステムです。人口対策・防犯の面からも空き家の有効活用は必要です。空き家などの物件をお持ちの方は、ぜひ登録をお願いします。



問合せ 産業観光課商工観光担当

☎62-1462